

2012/03/22 厚生労働省

中3公民・薬害問題学習について（指導計画とねらい）

立命館宇治中学校 社会科担当（篠原・北島・本庄） 文責・本庄豊

はじめに

本年度4月、厚生労働省パンフレット「薬害って何？」が全国すべての中学3年生を対象に配布された。薬害根絶にむけて、政府が学校教育（とりわけ公民的分野）のなかで具体的なとりくみをすすめることをめざし、強い決意を示したことになる。

しかし、実際はパンフレットを配布するだけで終わってしまう例が少なくないといわれている。そうしたなか、このパンフレットを社会科の授業で積極的に活用し、薬害根絶にむけた教育的なとりくみを前進させることは大きな意義がある。

- 1 目 的
- ①薬害根絶にむけ、薬害の歴史と現状について学ぶ。
 - ②薬害が繰り返し起こるのはなぜかについて考えさせる。
 - ③薬害被害者家族から話を聞き、薬害をどうして防ぐのかについて学ぶ。

授業のねらい

四大公害については戦後史（歴史）や企業の社会的責任（公民・経済）のなかで学習する。政官財癒着のなかで引き起こされた公害問題は、現在の環境問題にもつながるという点で「社会のしくみ」を理解させるための重要な学習となっている。

今回は中学3年生公民経済学習のなかで3時間扱いで実施した。生徒の感性を大切にしつつも、社会のしくみにつながる社会認識をどうつけさせるのかを重視して実施した。薬害被害者家族の勝村夫妻への手紙は、感性的な部分からなる「手紙①」と、社会のしくみに迫る「手紙②」の二つに分けて書かせた。薬害根絶のためには「情報開示」が大切であることが生徒のなかにすんと落ちることをねらいにした。

厚生労働省パンフレット「薬害って何？」を教材の一つとする薬害問題の授業は三年計画で実施していくが、今年はその1回目である。

2 指導計画

1時間目

勝村久司『ぼくの「星の王子さま」へ』（幻冬舎文庫）抜粋
・勝村さんについてかんたんに紹介する。

DVD「医療事故遺族勝村久司さんの10年」（NHK）最初の15分上映

- ・2月17日（金）勝村さんから直接話を聞くことを伝える。
- ・『ぼくの「星の王子さま」へ』（抜粋）を読む。

※教師が読む、生徒に読ませる、黙読させるなど学級の様子にあわせて、読ませる方法は自由。（黙読が良かった）

- ・勝村さんに「手紙①」を書く。時間がなければ宿題とする。

- 2 時間目** 厚生労働省パンフレット「薬害って何？」をつかって学ぶ。
- ・前時に書いた「手紙①」をいくつか読む。
 - ・パンフについてかんたんに説明する。
(薬害被害者のみなさんの運動により、はじめて作られた)
 - ・6班に分かれ、発表する準備をする。強く訴える発表を。
※ワークシートを使用する。
 - ・未提出者から勝村さんへの「手紙①」を集める。

- 3 時間目** 薬害被害者家族勝村久司さんから薬害について学ぶ。
- ※2012年2月17日(金)午前中
- ※勝村さんに「手紙②」を書く(宿題)。
- ※A401については前日にビデオ機器の準備完了。

1 時間目	2月15日(水)	1組	2組	3組	4組	5組
2 時間目	2月16日(木)	1組	2組	3組	4組	5組
3 時間目	2月17日(金)	1組	2組	3組	4組	5組

- 3 3 時間目** 2月17日(金)の講義場所 講師・勝村久司さん
- | | | |
|-----|---------|------|
| 1校時 | 3年3組 | 教室 |
| 2校時 | 3年2組 4組 | 大会議室 |
| 3校時 | 3年5組 | 教室 |
| 4校時 | 3年1組 | 教室 |
- 4 講 師** 勝村久司さん
陣痛促進剤による薬害で長女星子さんを亡くす。大阪府立高校理科教諭、厚生労働省中央社会保険医療協議会委員。著書に『ぼくの「星の王子さま」へ～医療裁判10年の記録』(幻幻社)などがある。
- 5 助言者** 栗原敦さん 全国薬害被害者団体連絡協議会(MMR被害児を救援する会)医薬品医療機器総合機構運営評議会救済業務委員
※当日、生徒の質問などにも答える。
- 6 授業効果** 厚生労働省パンフレットで薬害についての科学的知識を得るとともに、被害者から直接話を聞くことで、身近な問題として考えることができる。

薬害って何だろう①	系且	名前	

◇陣痛促進剤被害とは何なのか。勝村久司『ぼくの「星の王子さま」へ』を読んでみよう。

- | |
|---|
| 1時間目…… 『ぼくの「星の王子さま」へ』（抜粋）を読み、勝村さんに手紙①を書く。 |
| 2時間目…… 厚生労働省『薬害って何だろう』をワークシートで学習する。 |
| 3時間目…… 陣痛促進剤被害者家族の勝村さんを招いて、学習し、勝村さんに手紙②を書く。 |

1時間目

1 次の質問に答えてみましょう。

- (1) 君が生まれたときの体重はどのくらいでしたか？
- (2) 君の名前はどんな意味ですか？
- (3) 君は今までに大きな病気をしましたか？それはどんな病気ですか？
- (4) 君が病気するとき、君の保護者はどんなことをしてくれましたか？
- (5) 兄弟姉妹や同級生が大きな病気をしたことがありますか？それはどんな病気ですか？
- (6) 君が抱いている「出産」についてのイメージを書いてみましょう。

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	
(6)		

2 勝村久司著『ぼくの「星の王子さま」へ』（抜粋）を読み勝村さんに手紙①を書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

薬害って何だろう②	系目	名前

厚生労働省パンフ『薬害って何だろう』とワークシートで薬害について学習してみよう。

I 次の薬害被害についての説明文（全国薬害被害者団体連絡協議会のホームページから）と『薬害って何だろう』3ページ～4ページの被害者の声を班ごとに読み、発表してみよう。（どんな薬害なのかについて発表する）

- (1) どのような薬害なのか？ 被害者（家族）はどのように苦しんできたのか。
- (2) 被害者（家族）は薬害をどのように考えているのか、について書きましよう。

① スモン被害者（ 班）

スモンは整腸剤キノホルムによる薬害。歩行困難が多く、視力障害も伴う。被害者約12000人。十数年にわたる裁判の結果、原告勝利のうちに「確認書」による和解を勝ち取る。10地裁での勝利判決、薬事法の改正と医薬品副作用被害救済基金法を制定させる。現在も薬害根絶と被害者対策としての恒久対策を前進させるため、被害者団体が協力して奮闘中。（『薬害って何だろう』5ページも読んでみよう）

(1) どのような薬害なのか？ 被害者はどのように苦しんできたのか

(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

② サリドマイド被害者（ 班）

「いしづえ」は、サリドマイド被害者の福祉センターです。被害者の多くは仕事や家庭を持っていますが、生活上の不便や困難を抱えている人も少なくありません。また、体に無理な負担がかかることによる二次障害も問題となっています。さらに、最近、サリドマイド剤の使用が世界的に復活しつつあり、現にブラジルでは新たな被害児が生まれています。新たなサリドマイド禍の防止と被害者救済のための国際的な取り組みが求められています。（『薬害って何だろう』6ページも読んでみよう）

(1) どのような薬害なのか？ 被害者はどのように苦しんできたのか

(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

③ HIV 被害者 (班)

米国売血由来非加熱血液製剤を使用していた日本の血友病患者等約5000人は次々とHIV(エイズウイルス)に感染し、感染者約1500人のうち592名(2006年9月現在)が死亡した。生存被害者も重複感染したC型肝炎を抱え厳しい闘病を余儀なくされている。国は当時安全な国内血漿の利用や加熱製剤の早期導入を行わず被害を放置した。この空前の薬害事件「薬害エイズ」は国および製薬企業を被告とした裁判が争われ、1996年3月29日に和解が成立した。(『薬害って何だろう』1ページも読んでみよう)

(1) どのような薬害なのか? 被害者はどのように苦しんできたのか
(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

④ C型肝炎被害者 (班)

出産時や外科手術時の出血の際、フィブリノゲン製剤や第IX凝固因子製剤などの血液製剤を投与され、多くの患者がC型肝炎ウイルス感染被害を受けた。三菱ウエルファーマ(旧ミドリ十字)の推計によると、1980年以降にフィブリノゲン製剤の投与を受けてC型肝炎ウイルスに感染した患者は少なくとも1万人以上いるといわれている。現在、東京大阪・福岡・名古屋・仙台の各地方裁判所で、国と製薬企業を相手に訴訟を起こし、審理中である。(『薬害って何だろう』2ページも読んでみよう)

(1) どのような薬害なのか? 被害者はどのように苦しんできたのか

(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

⑤ MMR ワクチン被害者 (班)

1989年4月に導入された新3種混合MMR (M:はしか、M:おたふくかぜ、R:風しん) ワクチンは、無菌性髄膜炎を多発させ、厚生省は多くの批判を受けながらも93年4月まで強行したため、180万人接種で約2千人に被害を及ぼし、死亡・重篤な後遺症も発生させた。認定被害者数は予防接種史上最多の1040人。93年12月以後、3家族7人が大阪地裁へ提訴。03年3月一審、06年4月二審の判決。被告は国と(財)阪大微生物病研究会。承認されていないワクチン株に無断変更した企業の責任、それを指導監督すべき国の責任があり、賠償責任があるとされ、06年10月に裁判は終結した。しかし、事件の全貌が明らかにされたわけではなく、91年に発生していた2次感染の事実が2年間公表されずに接種が継続されていたことや、期限の切れたワクチンが大量に使われていた問題など、検証されていない課題がある。(『薬害って何だろう』2ページも読んでみよう)

(1) どのような薬害なのか? 被害者はどのように苦しんできたのか

(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

⑥ ヤコブ病被害者 (班)

薬害ヤコブ病 (iCJD) の被害は、脳外科手術により移植された脳硬膜 (ヒトの死体から採取され医療材料としてドイツから輸入) が原因で生じました。CJD は、治療もなく発症から約2ヶ月で植物状態となり、1~2年以内で多くが死に至る恐ろしい病気で、この薬害は「HIV薬害」と全く同じ構造で繰り返されました。家族の悲しみ、無念さは、言葉では言い表せません。2002年に和解・確認書締結がなされ、2004.7までに提訴総数94名うち和解成立は66名となっています。2004.1までの報告では被害総数108名となり増加を続けています。そんな中で2002.6にヤコブ病サポートネットワークが設立されました。

(1) どのような薬害なのか？ 被害者はどのように苦しんできたのか
(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

Ⅱ Iを調べたり、他の班の話を聞いたりして、薬害発生にどのような共通点があるかわかりましたか。かんたんに書きましょう。

--

Ⅲ 次の文章は「陣痛促進剤による被害」です。(1) どのような薬害なのか？ 被害者はどのように苦しんできたのか、(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか、について書きましょう。((全国薬害被害者団体連絡協議会のホームページ参照))

出産の際に陣痛を起こしたり強めたりする陣痛促進剤。産婦人科医の団体は、1974年までにその副作用による母親死亡・胎児仮死・脳性麻痺等の頻発を把握し、最大使用量を能書の半分以下にすべきなどの見解を極秘にまとめていましたが公表されず、能書の改訂は被害者団体が国に訴える1992年まで放置され、被害は続発しました。改訂後も、被害者団体には既に約200件の重篤な被害が寄せられており、十分な説明もないまま、出産日時を医療機関の都合に合わせる目的等の安易な使用が続いています。(『薬害って何だろう』2ページも読んでみよう)

(1) どのような薬害なのか？ 被害者はどのように苦しんできたのか
(2) 被害者は薬害をどのように考えているのか

薬害って何だろう③	糸目	名前

薬害（陣痛促進剤）被害者家族の勝村さんを招いて、学習。手紙を書く。

勝村久司さん	陣痛促進剤による薬害で長女星子さんを亡くす。大阪府立高校理科教諭、厚生労働省中央社会保険医療協議会委員。著書に『ぼくの「星の王子さま」 ～～医療裁判10年の記録』（幻幻社）などがある。
---------------	--

DVD（クローズアップ現代・一部）を視聴するとともに、陣痛促進剤被害者家族である勝村久司さんの話を聞き、勝村さんや妻の理栄さんに手紙②を書きましょう（宿題）。

勝村さんへの手紙

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



薬害って何だろう④	組	名前	
------------------	---	----	--

◇3時間の薬害学習（陣痛促進剤被害）を終えて、何を学んだのか振り返りましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....